

都市再生整備計画 事後評価シート
千提寺地区

平成28年2月

大阪府茨木市

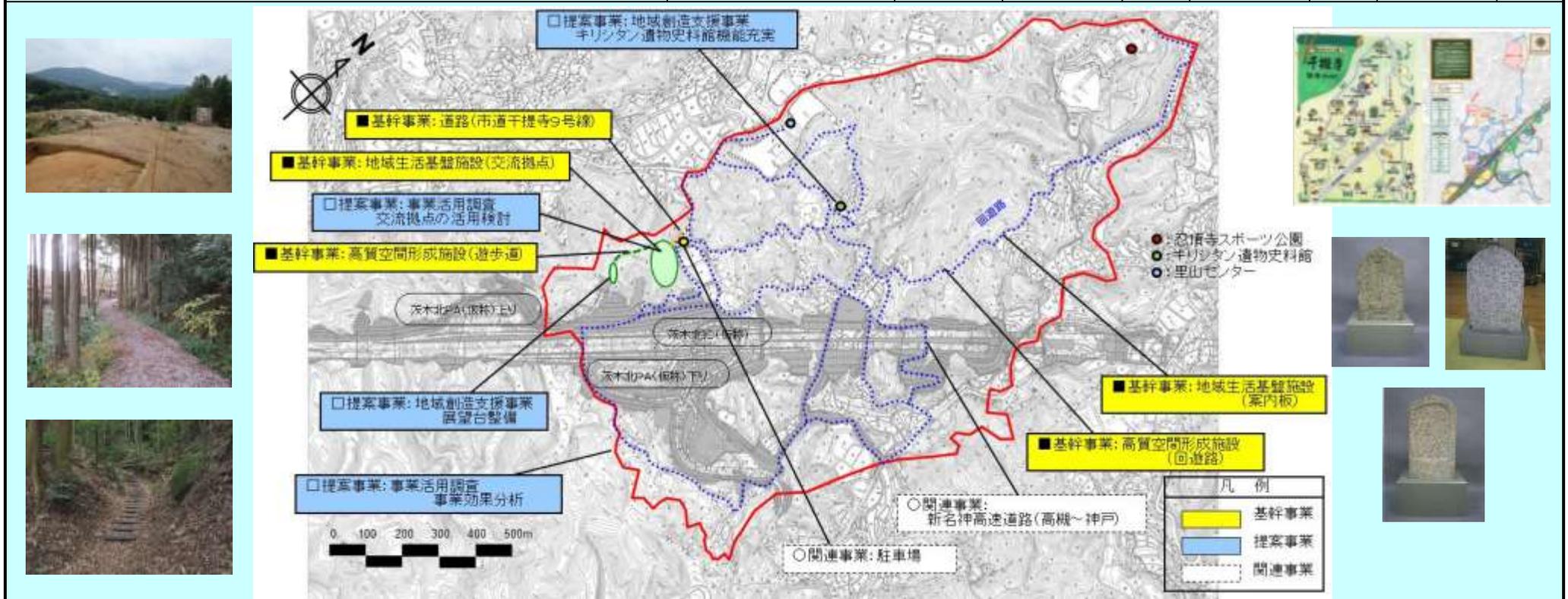
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	茨木市		地区名	干提寺地区			面積	144ha		
交付期間	平成23年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	98百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市道干提寺9号線)、地域生活基盤施設(広場、情報板)、高質空間形成施設(回遊路、遊歩道)										
		提案事業	展望台整備、キリシタン遺物史料館機能充実、上水道引き込み事業、交流拠点の活用検討、地区の魅力PR事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		-				-				
		提案事業	地区の魅力PR事業 上水道引き込み事業		地区の魅力PR事業:地域主体の取り組みに移行したため削除 上水道引き込み事業:広場の整備形態の変更により削除				影響なし				
	新たに追加した事業	基幹事業	なし		-				-				
提案事業		事業効果分析		計画期間における事業効果を分析し、今後のまちづくりに反映するため追加				-					
交付期間の変更	当初	平成23年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	平成23年度～平成27年度		-									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	来訪者の満足度	%	14.5	H22	20.0	H27	-	25.9	○	あり	事業の実施前から地区に対する来訪者の期待度は大きく、今回の整備により回遊性が高まったことから、来訪者の満足度の向上につながったと言える。	平成29年10月頃
	指標2	既存3施設への来訪者数	人/年	38,709	H21	42,000	H27	-	50,207	○	あり	自然や歴史に触れることができる施設等の整備により相乗効果が発揮され、既存3施設への来訪者数の増加につながった。	平成29年10月頃
	指標3	まちづくり活動への参加者	人/年	148	H21	160	H27	-	194	○	あり	イベントの開催や回遊路の整備など地域住民がまちづくり活動を行う機運が醸成され、まちづくり活動への参加者数の増加につながった。	平成29年10月頃
	指標4										なし		
指標5										あり			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	-											
	その他の数値指標2	-											
その他の数値指標3	-												
4)定性的な効果発現状況	都市部の住民に地域の魅力を知ってもらうため、きめ細やかなおもてなしを意識した、隠れキリシタンの歴史を知り、自然を体験するイベントとして「干提寺さと巡り」が干提寺地区住民により開催された。案内板のイラストを地域住民自らがデザインし、回遊路や展望台の整備にあたっては、地域住民の協力、ボランティア団体の協力を得て伐採、除草等を行った。遠方までハイキングに赴かず市内の回遊路を散策することができ、高齢者を中心とした健康づくりや生きがいづくりにつながった。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
持続的なまちづくり体制の構築	-	干提寺まちづくり委員会の開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	今後も地区住民の主体的なまちづくり活動を検討するための場となるよう、市はオブザーバーとして参加し、支援する。		

様式2-2 地区の概要

千提寺地区(大阪府茨木市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
豊かな自然環境と貴重な歴史・文化資源を活かしたにぎわいある癒しの空間の創出 目標1: 都市部の住民と地域住民による交流の促進 目標2: 将来の新名神高速道路の整備インパクトを活用したまちづくりの素地づくり	来訪者の満足度	単位: %	14.5 H22	20.0 H27	25.9 H27
	既存3施設への来訪者数	単位: 人/年	38,709 H21	42,000 H27	50,207 H26
	まちづくり活動への参加者	単位: 人/年	148 H21	160 H27	194 H26
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡広場(千提寺菱ヶ谷遺跡)、回遊路・展望台の整備、キリシタン遺物史料館の機能充実により地区内の回遊性や魅力が向上した。 ・まちづくりの機運が高まり、住民主体によるイベントを定期的に開催するなど継続したまちづくりの体制が構築された。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の魅力の創出に向けて、回遊路等の適正な維持管理をはじめ、キリシタン遺物史料館の更なる充実や回遊性の向上を目指した取り組みを推進するとともに、地区の魅力のPRなどの情報発信を行う。 ・新名神高速道路の開通に伴う通過交通対策が必要であり、新名神高速道路の西側(山側)とインターチェンジをつなぐアクセス道路を確保するため、市道泉原千提寺線の整備を行う。 ・本市北部地域の将来を踏まえたまちづくりの検討・活動を行う場として平成27年4月に「茨木市北部地域協議会」が設立されており、今後の北部地域における地域主体のまちづくりに対し、引き続き支援を行う。